

## 評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年12月24日

事業所番号	2772401952	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	有限会社 ハル	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
事業所名	グループホーム はる	評価調査日	平成 21 年 12 月 22 日
所在地	枚方市船橋本町2丁目85番地の7 電話 072-856-3021	評価確定日	平成 21 年 12 月 25 日

【情報提供票より】 (平成21年12月9日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成15年5月1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数 9人
職員数	9人 常勤 5人 非常勤 4人 常勤換算 5人

## (2) 建物概要

建物の構造	軽量鉄骨造 2階建の1～2階部分
-------	---------------------

## (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (1月)	42,000円	その他の経費	28,000円	
敷金	<input checked="" type="checkbox"/> 無			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 200,000円 償却 有 期間限定せず			
食材料費	朝食	一円	昼食	一円
	夕食	一円	おやつ	一円
	または1日当たり 1,400円			

## (4) 利用者の概要 (21年12月現在)

利用者人数	8名	男性	2名	女性	6名
要介護1	0名	要介護2	0名		
要介護3	3名	要介護4	3名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢 平均	87才	最低	82才	最高	93歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人美杉会 佐藤病院
---------	--------------

## 【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

ホーム開設後6年6ヶ月になり、職員も当初からの勤続者が主で、異動は殆ど無く、運営者自身もケアに携わり、気配りは十分です。介護記録もセンター方式の検討をされているが、職員の多くが当初からの勤続者であるため、一人ひとりへの配慮が動作の中に表れている。又、職員として看護師も一人採用し、入浴時の見守りを重視して、その時間には別に職員一人を配置して安全を図っている

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	運営者は認知症に向き合っており、より良い介護と、より良い治療が出来るようにを、願って努力している。利用者の高齢化による機能低下には、4名の方が専門のデイサービスを受けて、改善を図っている。幼少児との交流は今年度は出来なかったため、来年度に期待したい
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	前年までの評価後と同じく、今年も毎回の職員会議で、運営者をはじめ職員で初心に戻り検討し、改善案を検討して作成している。職員は開設以来の勤続者が8名で安定した親身の介護が行われている
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4、5、6)
	運営推進会議は2ヶ月ごとに開催されており、ホーム運営に役立つ情報交換が出来ている。出席して頂いている自治会長さんは、ご自身が組織の福祉担当で、何かと情報等の支援を頂いている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7、8)
	ホームは「心のバリアフリーをめざして」の理念を実践しており、ご家族のアンケートでも、ご満足を受けており、あるご家族は「これ程まで親身になって……」又、あるご家族は「家族のように親切なスタッフ」等の内容の記載があり、感謝している様子が伺える
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	運営者ご自身が以前、自治会長をされたことがあったが、現在の自治会長さんにはグループホームの活動について何かとご支援、ご配慮を頂いている。又、運営者はご夫妻で自治会の活動には積極的に参加しており、一例として自治会、敬老会等の集会には送迎の手伝いで協力している

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
<b>1 理念と共有</b>					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「心のバリアフリーをめざして」を掲げ、認知症の特性を理解し、運営方針としている		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員会議は毎月2回開催し、理念の実践に向けて検討を進めている		
<b>2 地域との支えあい</b>					
	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	運営者自身が自治会長の経験者で、現在もご夫妻で自治会活動に協力している		
<b>3 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	毎月2回の職員会議で改善について取り組んでいる	○	運営者を始め職員の皆さんで改善に取り組んでおられますが、益々の研鑽を続けてください
	5	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	2ヶ月ごとに開催され、地区包括センターからの情報提供をはじめ、ホームの経過報告等でサービス向上に活かされている		
	6	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営者は市役所、包括センター等の方々とは、機会があるごとに対話交流をしている		
<b>4 理念を実践するための体制</b>					
	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	毎月「はる便り」を送っている、必要に応じて電話連絡もしている		
	8	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族来訪時には職員が面談し、コミュニケーションを図っている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

## 5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>		

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

## 1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		
--	----	----	---	--	--

## 2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		
--	----	----	---	--	--

## III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

## 1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		
--	----	----	--	--	--

## 2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		
--	----	----	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	一人ひとりについて、変化があれば、本人、ご家族、医師、職員等で話し合いを行なって、新計画を作成している。又、運営者は利用者の加齢に伴い、よりの確な医師の判断を切望している		
<b>3 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や、ご家族の状況に応じて、可能な支援を行なっている		
<b>4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	提携病院、内科医師、歯科医、整形外科医師等に往診してもらい、受診している		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	主治医、ご家族、職員とで話し合っ、方針を決定している、職員とは情報を共有しあっている		
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1 その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	利用者に関係の資料類は別途、保管管理している		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の、その日の症状に合わせて、職員は個別の介護を実施している		
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は季節感を味わって頂けるよう配慮し、調理している。尚、食事前後の手伝いは無理な状況になっている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		週2回、午前中の中の入浴としている。男性の、ある利用者とは運営者が、銭湯と一緒に利用している

## (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		一人ひとりの好みに合った楽しみを見つけ出して、楽しんで頂いている
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		その日の状況を見て外出を決めている。ホームのすぐ横は、河川敷の遊歩道となっている

## (4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		玄関の鍵は、見守り可能時には鍵かけは行っていない
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		年2回は避難訓練シュミレーションを実施している

## (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		食事は同じメニューながら、個別の形態、味付け等としている
--	----	----	---	--	------------------------------

## (1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		共用室、浴室、洗面所、トイレは車椅子対応とし、機材設備も最新のものに改装している。
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		個室は自由に使っている